

【令和】

神戸市水上消防署 歴史年表



- ・消防組織制度
- ・行事施策 など

(6月)
G20大阪サミット 部隊派遣
舞洲アリーナに70名、
総括本部に6名、警戒本部に5名を
それぞれ派遣しました。



(9月)
ラグビーワールドカップ
特別警戒
ラグビーワールドカップが
日本で初開催されたことに
伴い、多数の神戸市消防職員が
特別警戒に従事しました。



(9月)
消防団スマート情報システム
運用開始
災害発生時、消防団員がLINEで
送信した情報を、人工知能が
集約し、共有できるシステムの
運用が始まりました。



- ・消防艇
- ・消防車両 など

(11月)
水難特別救助隊(WSR unit)
水上消防署に配置
高い水難技術を身に付けた隊員、
水難事故に対応できる資器材が
水上消防署に配置されました。



(11月)
組み立て式の止水板を配置
高潮時の海水浸入防止のため、
組み立て式の「止水版」が配置
されました。



- ・神戸港 関連

(1月)
神戸ポートタワー階段駆けあがり
訓練&救助体感デー
「神戸市消防救助隊発足50周年」
と「文化財防火デー」を記念して、
消防隊員が神戸ポートタワーに
集結し、476段の階段駆け上がり
タイムレースを実施しました。



(7月)
BE KOBEモニュメント
ポーアイしおさい公園に設置
「BE KOBE」モニュメントが
ポーアイしおさい公園にも設置
されました。



(9月)
ラグビーワールドカップ
オープニング式典
9月26日にメリケンパークで
ラグビーワールドカップの
オープニング式典が開催され、
消防艇たかとりも放水を行い、
開幕を祝いました。



平成三一年・令和元年

【令和】

神戸市水上消防署 歴史年表



- ・消防組織制度
- ・行事施策 など

(4月)

本部機動中隊の創設

無人航空機(ドローン)及び重機の運用が開始されました。



(DJI社製 Matrice210)

(7月)

神戸市立医療センター中央市民病院、学校法人 神戸学院大学と水上消防署が、「非常時における駐車場及び建物の提供に関する覚書」を締結

高潮などで水上消防署から消防車両を退避させる必要がある際に、駐車場等を提供していただける覚書を締結しました。



(9月)

「ポーアイ防災ジュニアチーム」の立ち上げ

港島地区防災対策委員会(港島防災福祉コミュニティ)で、中学生の防災意識を高めることを目的に、ポートアイランド初の「ポーアイ防災ジュニアチーム」を立ち上げました。



- ・消防艇
- ・消防車両 など

(4月)

消防団搬送車 水上消防署に配置
消防団員が資器材の搬送、避難広報やパトロールに使用できる車両が水上消防署にも配置されました。



(4月)

本部救急隊(BLUE-CAT) 運用開始
救急課救急研修係が水上消防署に新設され、本部救急隊として大規模災害対応救急隊(BLUE-CAT)として運用することになりました。



- ・神戸港 関連

(8~12月)

消防艇 定期歓迎放水を実施

「コロナに負けるな!」「ようこそ神戸へ!」「みんな頑張ろう!」など様々な思いを込めて消防艇たかとり・くすのきで毎週金曜日に歓迎放水を実施しました。



最終日(12月25日)

令和二年

【令和】

神戸市水上消防署 歴史年表



- ・消防組織制度
- ・行事施策 など

(1月)

リモート消防出初式 開催
 新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、映像と音で決意を伝えるリモートでの形式での出初式を開催しました。



(8月)

消防団タブレットを整備
 災害時の情報収集・共有を効率的に行うために、消防団タブレットを各署に配備しました。



(12月)

淡路広域消防事務組合と消防相互応援協定を締結
 淡路広域消防事務組合と災害時に援助しあう協定を締結しました。



- ・消防艇
- ・消防車両 など

(2月)

ポンツーン上架
 普段、消防艇を係留しているポンツーンの業者整備を実施しました。



(2月)

BLUE-CAT(神消90)を新車更新
 救急課救急研修係 本部救急隊が運用する救急車が新車更新されました。



(3月)

水難特別救助隊に新設備を配備
 水難特別救助隊に、新たに水中ドローン、高機能ボートが配備されました。



- ・神戸港 関連

(3月)

消防艇 全国一斉放水を実施
 昨年度の定期歓迎放水に続き、コロナ禍を乗り越えるための勇気と希望を伝えるために、全国16都道府県23消防本部の消防艇が3月7日も消防の日に、各地で一斉に放水を行いました。



令和三年

【令和】

神戸市水上消防署 歴史年表



- ・消防組織制度
- ・行事施策 など

(1月)

航空機動隊発足50周年

昭和47年に消防航空隊として発足した航空機動隊が、今年で発足50周年を迎えました。



(10月)

神戸BOKOMIフェスタ

阪神・淡路大震災から得た教訓を次世代につなぐ防災イベント、神戸BOKOMIフェスタが神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパスで開催されました。



(12月)

三田市と「消防指令事務の共同運用に関する規約の制定の協議書」を締結。令和9年から実施する三田市との消防指令事務の共同運用に向けて、協定を締結しました。

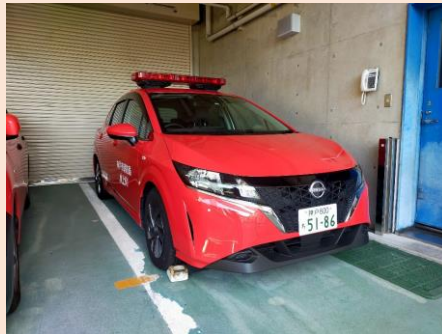


- ・消防艇
- ・消防車両 など

(2月)

査察広報車・司令車を新車更新

査察係が査察広報業務に使用する水上61と、災害時に人員資器材の輸送等で活躍する司令車が新車に更新されました。



- ・神戸港 関連

(9月)ポートタワー工事開始

神戸ポートタワーが9月26日をもっていったん営業を終了し、大規模リニューアル工事が開始されました。



(10月)

神戸ポートミュージアム開業

水族館、ブライダルデスク、フードホール等で構成される複合文化施設が開業しました。



神戸港入港客船に歓迎放水を実施

神戸港へのクルーズ船入港が徐々に増加してきました。それに伴い、歓迎放水を実施する機会も多くなりました。



令和四年